

激動の欧州バッテリー規則とベストプラクティス

～「様子見」では手遅れに？

『2年の猶予』を事業機会に変えるには～

一 講 師 一 KPMG コンサルティング株式会社

シニアマネジャー 荒尾 宗明 氏

シニアコンサルタント 白石 乃里子 氏

日 時 2025 年 1 0 月 1 5 日 (水) 午後 4 時～6 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

〔重点講義内容〕

ライエン委員長 2 期目の EU では「競争力強化」を旗印に規制の舵が大きく切られ始めました。その象徴が、オムニバス法案による欧州バッテリー規則をはじめとした各種規則の延期等を含む改正です。しかし、これは決して規制「緩和」ではありません。むしろ企業には、延期を準備期間とした、より質の高い対応が求められています。

本講演では、欧州規制の大きな潮流を読み解き、規制対応を「守りのコスト」から「攻めの競争力」に変えるための戦略を提言します。

1. ライエン 2 期目の欧州委員会：政策の潮目はどう変わったか
2. 主要分野における欧州規制の最新動向
3. 欧州バッテリー規則の全体像とビジネスへのインパクト
4. 企業の望ましい対応：延期を競争力に変える戦略
5. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 荒尾 宗明 (あらお むねあき) 氏

中央官庁において、政策立案・規制運用・諸外国との政策調和に従事後、2022 年から KPMG コンサルティング株式会社にて、法務・知財・コンプライアンス体制の高度化支援や業務改革支援等に従事。

PROFILE 白石 乃里子 (しらいし のりこ) 氏

大手素材メーカーにて経理・IR を経験後、大手通信会社にて新規株式公開 (IPO) プロジェクトを経験。その後、IR 業務を中心に CEO のもとで社内外への発信業務に 5 年間従事。出向にて大手 IT 企業の IR 業務も経験。世界中の投資家とコミュニケーションをとる中で、投資家のサステナビリティへの高い関心に振れ、企業のサステナビリティに関心を持つ。2024 年から KPMG コンサルティング株式会社にて、海外拠点のコンプライアンス対応やサステナビリティ・サプライチェーンの案件に従事。

